

琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 沖縄関係（毒ガス問題） 第一次移送(4)

| | |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属: |
| URL | http://hdl.handle.net/20.500.12000/43780 |

防街舟あり往信

主任 澤谷

急
シラフがいます

| タイプ指示 | 発信用 | 執務用 | 計 |
|-------|-----|-----|---|
| 主 信 | / | / | |
| 付 | | | |
| 属 | | | |

| | |
|-----|--------|
| 発送日 | |
| 発 信 | タイプ 検査 |

文書課長 (分類)

公 信 案 (分類)

公 信 番 号 米北 / 第 2 号 公 信 昭 和 4 6 年 1 月 5 日 日 付

大 臣 官 房 長 主任

政 務 次 官

事 務 次 官

外 務 審 議 官

官 房 長

アメリカ局長

参 事 官

北 米 一 課 長

起 案 者 田 電話番号 2466

受信者 防衛庁官房長

発信者 アメリカ局長(心得)

写送付先 沖縄北方対策本部 事務部長 (希望発送日)

件 名 在沖縄米軍毒ガス撤去の立会人等の派遣について

GA-2 5 241 務 省 回覧番号 22

* 秘密標準 (赤色)

(件名) 在沖縄米軍毒ガス撤去の立会人等の派遣について

引用公・電信 日付・番号

全般 在沖縄米軍毒ガス兵器のオ一次

分の沖縄からの移送が近く実施される

との交渉の結果、右移送の実施に際しては日本政府から立会人数名の派遣が予定されております。

※ 付属添付 付属空便 (行) 付属空便 (DP) 付属船便 (貨) 付属船便 (郵)

GA-2-1 外務省

(捺印は文書課記入)

ついでに、右政府立会人として、貴
府にも^{右に参加をいたす。}然るに^{人員選定の上}、~~閣僚が専ら~~内閣
^{然るに閣下官を}
の設置を得たこと、即検討願
い。設置決定の場合は、参加者の氏名、肩
書等と併せ^{結果を以て}、^{願ひます。}即回報を得たい。
ここに依頼申し上げます。

平信(送付) 津波、北へ対策(閣内)総務部長

1/6 防衛庁 桜井内閣事務官

" Qinto 玉城事務官 係し

玉城

外 務 省

米北 / 第2号

昭和46年 / 月5日

防衛庁長官官房長 殿

外務省アメリカ局長

在沖繩米軍毒ガス撤去に際する
政府関係者の派遣について

今般在沖繩米軍毒ガス兵器の第一次分の沖繩
からの移送が近く実施される予定のところ、米
側とも協議した結果右移送の実施に際しては安
全性を確認するため日本政府から関係者数名を
現地に派遣し、立合うこととなつております。

ついては、貴庁よりも右に参加をえたく、し
かるべき専門官を人選の上氏名、肩書等をあわ
せ結果当方まで御回報願います。

本信写送付先 沖繩・北方対策庁総務部長



(注)

本信文書譯の受付中

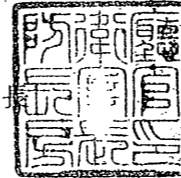
防 衛 庁

官総第13号

46. 1. 6

外務省アメリカ局長 殿

防衛庁長官官房長



在沖繩米軍毒ガス撤去に際する政府関係者の派遣について(回答)

米北1第2号(46. 1. 5)により依頼された標記について、下記の者を派遣しますので、外務事務官への併任をお願いします。

記

陸上幕僚監部化学課器材班長
2等陸佐 阿 達 憲

陸上幕僚監部化学課
3等陸佐 甘 利 富 重

添付書類：沖繩派遣要員経歴表

沖縄派遣要員経歴表

多岐 由人

陸幕化学課器材班長 2佐 (化) 阿達 憲 横狭工専 (化工) 63期

| | | | |
|------|---------|--------------------|----------|
| 主要経歴 | 29.8 | 6DHQ化学課 (化学主任物品官吏) | |
| | 31.12 | 9DHQ (4) | |
| | 36.8 | G50化学課 研究係 | |
| | 40.6 | 化校 運用教官 | |
| | 40.7~12 | 米留 (化校, AOC, 隊付) | --- 米留 |
| | 42.7 | G50化学課器材班 研究係長 | |
| | 45.3 | 器材班長 | --- 所掌班長 |

(特技: 上級化学通訳, 補給管理)

陸幕化学課器材班技術研究係 3佐 (化) 甘利 富重 防大 (化) 1 68期

| | | | |
|------|------------|-----------------------|--|
| 主要経歴 | 35.10~38.3 | 京都大学修士課程 (高分子反応) | |
| | 38.3 | 化校 研究課 (技術研究員) (技術教育) | |
| | 44.8~12 | 米留 (化校 隊付) | |
| | 45.3 | G50化学課 技術研究係 | |

(特技: 化学修理)

秘密表示 (朱印)

| | | | |
|------|-----|-----|----|
| 部数指示 | 発信用 | 執務用 | 備考 |
| 主信 | 1 | 1 | 2 |
| 付 | | | |
| 別 | | | |

發送日 昭和45年1月19日
 処理日
 発信 北 タイフ 検査

文書課長 (分類)

公債番号 1111 郵 12 号 公債 昭和46年1月19日 日付

大臣 事務次官 22 外務審議官 官房長

主 12

起案 昭和46年1月14日

アメリカ局長 参事官 北米第一課長

起案者 12中 電話番号 2465

協議先 軍縮室長 安全保障課長

受信者 防衛庁 長官 官房長

発信者 アメリカ局長

送付先 (希望發送日)

件名 調査用沖繩派遣に付の礼状

GA-3 19 138 外務省 回覧番号 152

(件名) 調査用の沖繩派遣に付の礼状

引用公・電信 日付・番号

今般在沖繩米軍毒ガス兵器汁一次分の移送に際しましては、事務多忙の折ゆかかわらば貴方より上記移送作業の安全性確認のため、政府派遣団員として、陸上幕僚監部阿達 憲三佐及同甘利富重

※印は文書課記入

GA-2-1 外務省

(注) 阿達三佐と同甘利富重へ送付済み

三佐の参加をいたしましてに對し
御礼申し上げます。

阿達二佐、甘利三佐が沖縄現地
において卓越した専門知識をもつて、本件
毒ガス兵器搬送の安全性を確認し、かつ、
関係方面に對し明確な説明を行なわれ
たことは、本件移送実施に多大の貢献
を行なったものとあります。

また、両官が米側関係者との緊密な
接触を通じて調査に当たられたことは、今
後残余の毒ガス兵器撤去に際しての
日米間の協力の礎となるものであり、
当省幹部を代表して貴庁ならびに両
官幹部の協力に對し、深甚な謝意を
表す次第であります。